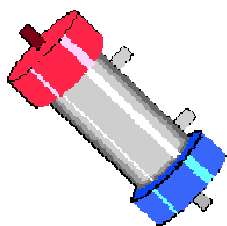


朝の申し送り



看護師と臨床工学技士が集まり、前回透析時の様子を確認し、その日に注意すべき事や、確認をするべき事をお互いに情報を共有します。
そして、申し送りでは不足していた内容を、個々にカルテで確認をします。

環境整備

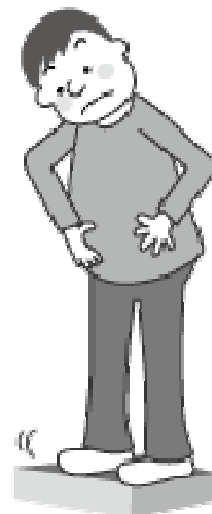


安全な透析療法を提供できるように、透析環境を整えます。
透析室内の環境を整えて、必要物品に誤りはないか確認、準備します。

患者さんの入室

- ・いつもと変化はないか？
- ・透析を始めても問題がない状態か？
- ・体重測定に誤りはないか？

入室時の変調を確認しています。



透析開始



除水の計算や体重設定、透析条件の確認を行います。
シャントの観察を行ない、針を刺して透析を開始します。
(皆さんにとって最も緊張する時だと思います(´n`。))

透析中

① 臨床工学技士と連携をし、安全で安楽な透析を行なえるように、透析中の観察を行い、トラブルを防ぎます。

具体的には・・・

ラウンド(見回り)、バイタル(血圧・脈拍・呼吸)変動、シャントの状態の観察、顔色・表情、機械の確認、などを行っています。

